②新学校給食センターは、

件 般質 問 眞司 の

緊急時の 新施設における 喪失のリスク

町長:民間機関と連携し緊急時の対応をする

び統合保育所が使用可能

し、学校給食センター及 れるが、電力などが復旧

は途絶することが予想さ 定すると、ライフライン

き出し施設として活用す 状態になった場合に、炊

阪神淡路大震災における ライフラインの復旧を考 途絶の際の電源車や発電 災害時のライフライン 電気調理器具にす

発生した時のバックアッ も含めた災害等による供 の緊急時、 うことで、これらの施設 設としての活用をするか。 の炊き出しに対応した施 ①施設は、 給ライフラインの喪失が 実施設計等も策定中とい る。また、統合保育所の 食センターを建設中であ クアップ機能はあるのか。 給が喪失した場合のバッ ②施設のライフライン供 ブ機能について。 て、今、 災害時に緊急 事故、 、故障等 学校給

る。

対応となり、 化設備で、 ると受水槽にある分での 使用するが、 22・5トンの貯水を行い はA重油の使用となる。 設であり、 00食の供給が可能な施 や給水車の利用が可能に ターは、 給湯につい

①震度7クラスの 地震が起きたと想

気エネルギーがなければ スクが高い。 ②1つのエネルギーに依 んどのエネルギーは、 存していくのは非常にリ じない。 いても活用するか。 ①統合保育所につ 現在、ほと 他のエネル 電

が復旧する見込みから導 期に電気

本町の大型施設と

機の利用は、

早

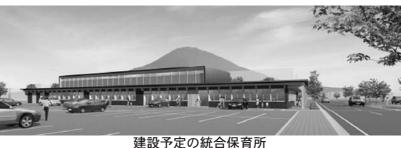
入しない。

備蓄計画を策定し、計画 的に長期保存食を備蓄す 避難所で炊き出しを行う。 は、 今後は、 災害が長期化した場合 町内会の協力により 町の災害時の

学 調理器具は電 校 給 最大16 7

ると考える。 ンターの運用が可能にな なった段階で学校給食セ 水道水は、受水槽に 断水が起き 水道の復旧

ギー、例えばガスの利用でかなえられるエネル では、トイレ需要が非常 ライン供給をし、町民の 段階にどのようなライフ も1つの考え方である。 のかということ。機器の 避難生活を確保していく が発生してから、初期の ギーに依存しない、 に困難になると言われて 故障時についても同様だ。 また、災害時に避難所 一番大事なのは、 災害



る。

設置し、 処理はできる。 プ機能があり、 ないが、一応バックアッ いエリアが出るかもしれ ない場合は簡易トイレを ライフラインの復旧に 下水道は、一部使えな 対応する。 全く使え ある程度

必要があり、 をしていく体制づくりは り 証をしながら計画する。 ついては全力を挙げて取 組み、一日も早い復旧 今後より検

単 独

アップ機能の一つと考え 民間の施設や資源等を十 る方法として、 分に活用するのもバック そして迅速的であ をかけず、かつ効 イニシャルコスト 町にある

レについてもどう考えている。下水道関係、トイ

ては検討していく。 ができるものと考えてお があることによって活用 まな分散したエネルギー)統合保育所は、さまざ 電気かガスかについ いても活用する。 ①統合保育所につ

が使えることになっていいて災害時に、各自治体

各自治体

飲食関係につ

いる。それとコンビニエ時に使えるようになって

ンスストアーとは、北海

時避難場所としての活用の宿泊施設関係とも、一 また、ヒラフスキー場 さまざまな

とも協力し合いながら考 どんな手法があるのかと いないが、災害時最短でるような状況とはなって も考えられ、 連携をし、 いうあたり町長部局とも 機能を復帰するためには、 しっかりと対策をする。 観点で協定を結びながら、 まな要因により対応でき 教育長 設整備は、 給食センターの 各機関、 さまざ

る。 1社の自販機が災害 また、飲料について 1社と協定してい 発電機については、